

報道関係者各位

令和8年5月22日（金）

【照会先】

健康・生活衛生局 感染症対策部  
感染症対策課

感染症情報管理室長 大塚 和子  
課長補佐 小谷 聡司  
(直通電話) 03(3595)2257

企画・検疫課

検疫所管理室長 阿部 友喜  
(直通電話) 03(3595)2333

## クルーズ船におけるハンタウイルス感染症事例について（その2）

表記については、5月6日付けプレスリリースによりお知らせしたところですが、最新の情報について、第二報としてお知らせします。

なお、今回の更新によって、これまでのハンタウイルス肺症候群(HPS)及びアンデスウイルスによるHPSに関するリスク評価が変わるものではありません。

新たな点は以下のとおりです。

- ① 国立健康危機管理研究機構（以下「JIHS」という。）のウェブサイトで掲載しているハンタウイルス肺症候群（詳細版）の説明について、更新をしました。また、一般の方向けにQ&Aを作成しました。

○JIHS ハンタウイルス肺症候群（概要） ウェブサイト

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/hantavirus-pulmonary-syndrome/index.html>

○JIHS ハンタウイルス肺症候群（詳細版） ウェブサイト

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/hantavirus-pulmonary-syndrome/detail/index.html>

○JIHS ハンタウイルス肺症候群 Q&A ウェブサイト

<https://id-info.jihs.go.jp/relevant-information/hantavirus-pulmonary-syndrome/faq/index.html>

【主な更新点】

- ・ HPS の潜伏期は1週間から7週間（通常2週間程度）であり、アンデスウイルスによるヒト-ヒト感染では最大6週間、と記載。
- ・ 致命率は10%から50%程度と報告されているが、原因となるウイルスによって異なり、アンデスウイルスでは21%から36%程度、と記載。

(変更概要)

JIHS ウェブサイト		更新前	更新後
致命率	概要	約 40%から 50% (注：上限値として記載)	10%から 50%程度
	詳細版	米国で約 42%から 50%、カナダで約 38%と報告がある	10%から 50%程度であり、アンデスウイルスでは 21%から 36%程度
潜伏期間	概要	潜伏期間は 1 週間から 5 週間程度	潜伏期間は 1 週間から 7 週間程度
	詳細版	潜伏期間は一般的に 2 週間	ハンタウイルス肺症候群は 1 週間から 7 週間(通常 2 週間程度)であり、アンデスウイルスによるヒト-ヒト感染では最大 6 週間

- ② ①に合わせて、厚生労働省及び厚生労働省検疫所のウェブサイトを更新しました。

○厚生労働省ウェブサイト

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hantavirushps.html>

○厚生労働省検疫所ウェブサイト「FORTH」

<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name35.html>

<https://www.forth.go.jp/index.html>

厚生労働省では、検疫所において、南米からの入国者のうち体調に異状がある方に対して、げっ歯類（ネズミ等）との接触の有無等を確認し、必要に応じて医療機関の受診を勧奨することとしております。

引き続き関係省庁と連携をしながら情報収集等対応してまいりますので、国民の皆さまには冷静な対応をお願いします。

なお、今般のクルーズ船における感染事例については、現在、世界保健機関（WHO）で調査中のため、今回の更新情報には含まれていませんが、今後も最新の情報について反映してまいります。

(参考)

○国外航行中のクルーズ船におけるハンタウイルス感染症事例について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001697960.pdf>

【国立健康危機管理研究機構（JIHS）照会先】

国立健康危機管理研究機構（JIHS）

危機管理・運営局 広報管理部 広報企画室

mail : [press@jihs.go.jp](mailto:press@jihs.go.jp)

TEL : 03-3202-7181 内線 2028